

近畿農産資材株式会社

企業概要

○所在地:兵庫県佐用郡佐用町山脇字一本木1129番地 ○TEL:0790-82-3862 ○設立:昭和53年6月13日 ○代表者:代表取締役 西 威誠
○従業員数:11人(平成30年6月現在) ○資本金:1,800万円 ○E-mail:kinkinousan24@yahoo.co.jp ○HP:http://www.kinki-nousan.jp/
●事業内容:法面緑化用土壌基盤材、農業・造園用土壌改良材、屋上緑化用土壌基盤材、農業用特殊培養土などの製造および販売
●主要生産設備:粉碎機(1台)、ふるい機(1台)、袋詰め機(4台)、殺菌機(1台)、堆肥舎(2棟)

事業計画名

ココピートを主原料にした高品質かつ超軽量の利用しやすい培養土の開発



園芸ブームが下降気味の中、相場にあわせた新商品を開発するためには、高品質で価格の安い原料が必要となっている。これらの要件に合う原料として圧縮率の高いココピートがあり、これを使用するために、粉碎機を使用し、軽量でかつ高品質な培養土を開発し、園芸人口の増加を目指す。

取り組みの背景

当社は緑化基盤材や農園芸用の堆肥などを製造している。単独資本における同製品の製造会社としては関西で最大手である。「牛糞堆肥といえば近畿農産資材」といわれるように、兵庫県で最も多くの牛糞を処理しており、堆肥の仕入れや仕込みの技術や設備の面で強みを発揮している。また創業当初から土特化型企業として、継続的に研究を行っていることから、土に関する品質や技術には高い評価を得ている。

当社がターゲットとする園芸のマーケットは約1,000億円強、特に用土市場は40億円と推定され、購買層の90%がホームセンターで購入される。一方、ここ数年は需要が頭打ち状態となっており、新たな販路開拓および新たなチャネルに見合う製品開発が必要と考え本事業に着手した。

取り組みの目標

- ココピートの5倍圧縮品の粉碎安定化
- 家庭菜園市場における新たな販路開拓
- 環境にやさしい園芸製品の開発

取り組みの内容

農園芸商品を購入する顧客の90%はホームセンターを利用する。ホームセンターは郊外型で店舗が広く、顧客は自動車来店し大きな商品でも購入する。また、農園芸のプロやセミプロの顧客も多いという特徴を持つ。本事業では、新たな販路としてドラッグストアやスーパーを想定し、マンションや戸建ての庭で行う趣味レベルの顧客をターゲットとした。

そのためには都市型の店舗に陳列でき、自転車や徒歩でも購入可能なコンパクト性に加え、趣味レベルの顧客が使いやすく購入しやすい、高品質かつ低価格製品が必要となる。そこで本事業では、ココピートを主原料にした培養土の一般市場向け製品開発を行った。ココピートは、環境対応・高品質・軽量であることから本事業に適正である。しかし輸送コストに課題がある。ココピートは、圧縮され押し固められた状態で輸入され、国内で復元作業を必要とする。圧縮率が高いほど安く輸入できるものの、復元作業が難しいため通常は2倍圧縮品が使用される。しかしそれでは、本事業のようにコンパクトな少量販売製品ではコストが合わない。そこで、復元が難しい5倍圧縮品の復元処理体制を構築することで、本事業を成立させた。

同社の強み

- ・土づくりのノウハウと品質の高さ
- ・広大な敷地を利用した生産およびストック能力
- ・堆肥製造で創業40年の老舗であり、業界内での信頼が高い

ポイント

品質の高いココピート培養土を、一般顧客が望む量を望む価格で提供可能になった



【導入したココピート粉碎機】



【ココピートの入荷時と処理後】

ココピートは圧縮率を高めるほど輸入コストは下がる。そこで本事業では通常2倍圧縮品を輸入するところを、5倍圧縮品を輸入した。一方で、5倍押し固められているため、その製品は非常に硬く、培養土として使用するために復元するには均質な土を作る必要があり、作業は難しく、また時間も必要となる。そこで本事業では、復元体制構築のため、粉碎機を導入し、以下の取り組みを行っている。

- ① 粉碎機のローラー回転方向の試験
- ② 粉碎機のローラー回転速度の試験
- ③ 粉碎機へのココピート投入量の試験
- ④ ココピートへの水の投入量の試験
- ⑤ 水の吸収時間の試験

社長の声



近畿農産資材株式会社
代表取締役 西 威誠氏

土づくりの専門企業として更なる高みへ

当社は、昭和53年に創業しました。当時では画期的な発酵牛糞堆肥の製造・販売から始まりました。創業自体は後発企業ですが、継続的に土づくりの研究・開発を進め、今では「牛糞堆肥といえば、近畿農産」と認知されるようになりました。堆肥などは、家畜の糞を活用して生産されます。いわゆる環境循環型事業です。当社は佐用町に立地していることから、周辺に家畜が多く、非常に多くの家畜の糞尿を処理しています。結果的に糞尿の処理量は、兵庫県で最も多いのではないかと思います。それは当社にとっての強みである一方で、社会貢献にも繋がることであり、私達はそれを誇りにしています。土づくりの専門家集団として、また環境のためになくはならない会社として、これからも誇りをもって社員一同成長していく所存です。

これら5項目の適正値を割り出し、明確化を行った。

近畿トップレベルの堆肥、培養土等の自社製造能力を更に強化



【自社内の製造設備の一例】



【多様な堆肥・培養土等のストックヤード】

当社は、単独資本での培養土や堆肥の製造企業としては近畿トップレベルの生産力がある。

土や堆肥という製品の性質上、お客様の望むタイミングで納入するためには、生産力だけでなく広大なストックヤードも必要とする。佐用町という都市部から離れた所に立地していることで、広大な土地を確保するだけでなく、堆肥に必要な家畜の糞などの仕入れも可能としている。それらは当社が近畿圏でトップレベルにある要因の一つである。このように大量の製品を扱えることが特徴であるが、本事業においては、都市部の販売店に対し、小ロットかつコンパクト製品の納入を可能とした。それにより当社では更に強みが強化されている。